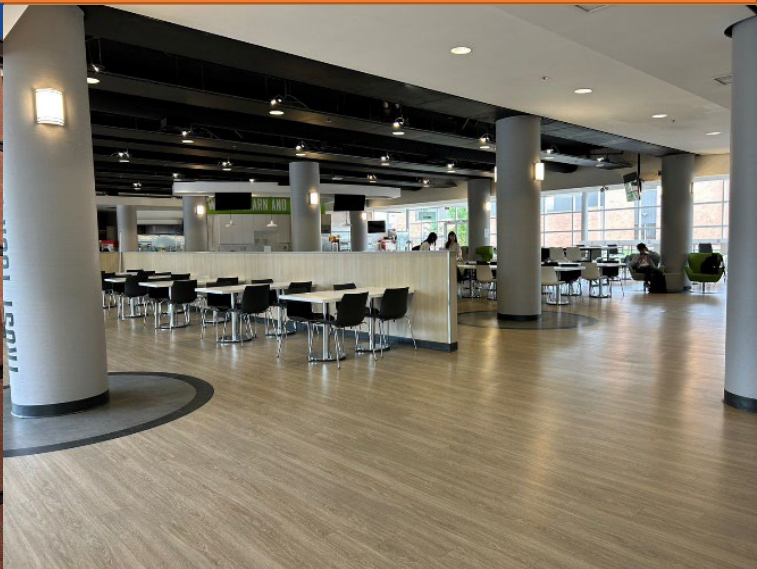
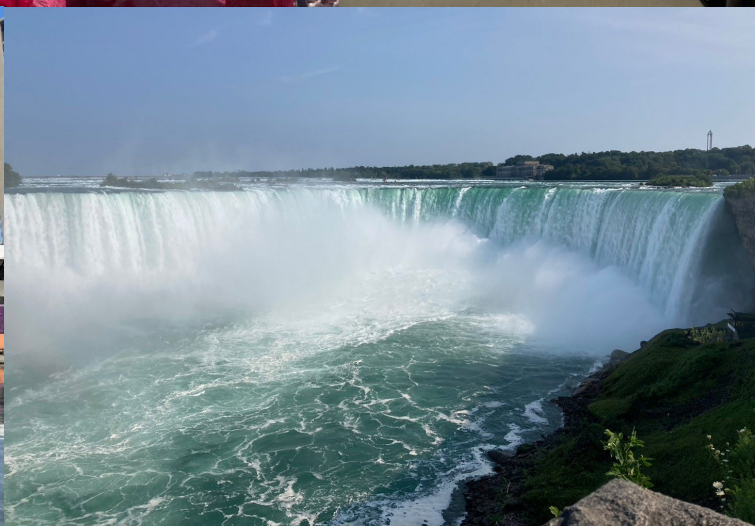
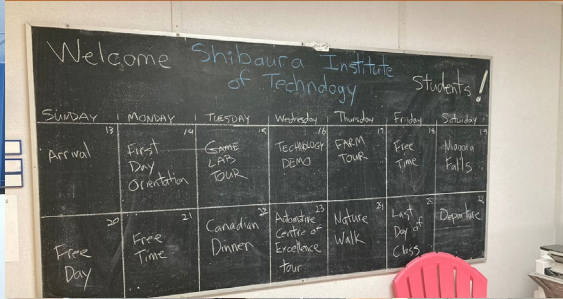


2023年夏渡航



2023年夏渡航





初めての海外で
一生の思い出ができました！

工学部 応用化学科 4年 西口 拓実さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：カナダ・オンタリオ工科大学

4年生になり英語に触れる機会が多くなったことや就活がひと段落したこともあり、語学研修に行くことを決めました。研究室の先生には英語を学ぶには本場の国がいいとアドバイスを頂き、カナダに決めました。

最初は初めての海外や学部4年生ということもあり、派遣に不安を伴っていました。しかし、カナダでの2週間は一生の思い出になりました。事前にゼミでの英語の活動や国際部主催のワークショップに積極的に参加していたため海外で英語力を伸ばすという目的意識のもとカナダでは活動をしていました。具体的には授業外で街の人とコミュニケーションをとってみたい、授業で関わったカナダの友人とボーリングやショッピングに行ったりしました。これらの活動は授業だけでは得られない特別な体験でした。授業は会話形式の授業が多く、他の国の学生とのグループワークや英語でのプレゼンなどを行いました。また、大学周辺の施設に訪れる機会も多くありゲームラボ、ロボットラボ、アートギャラリー、農場等に訪れました。授業がない日はナイアガラの滝やトロントの市街地に出かけました。

カナダから帰国してもっともっと海外に触れたいと感じました。日本でできない体験をカナダでできたからこそもっと多くの体験を試みたいと思うようになりました。私はGSSに所属しているので日本で留学生と関わることや海外旅行を計画しようと思っています。



今回の語学研修を通して、語学勉強や専門科目のモチベーションが上がりました！

工学部 応用化学科 2年 高橋 紀々子さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：カナダ・OTU

大学在学中に一度は留学をしてみたいと思っていました。また、高校の修学旅行が海外の予定だったのですが、自粛期間で行けなかった悔しさも今回の語学研修を決めた理由の一つでした。さて、どこの大学にしようと思った際に、Youtubeに載っていた留学体験記動画を参考にしました。カナダの自然の豊かさを味わってみたいと思い、今回オンタリオ工科大学に決めました。

授業は9時から3時の午前3時間、午後3時間(昼休憩1時間)が月～金×2週分ありました。プレゼンテーションの機会が多かったです。テーマは自己紹介や好きな音楽、アート、環境問題など。最終プレゼンテーションは『未来の街や学校』でした。他にも環境について話し合う時間や、文法やよく使う日常会話を学ぶことができます。午後の3時間は、大学の研究施設や大学周りの自然や農場を紹介してもらいました。大学の敷地面積や設備や何から何まで日本の大学とは比べ物になりません。圧倒されます。授業は3時までなので、授業が終わったら近くのショッピングセンターやドラッグストアへ行ったり、寮で休んだり自由時間です。間の土曜日はナイアガラの滝へ、日曜日はトロントへ観光に行きました。日本では見ることのできない光景はとても新鮮で魅了されること間違いありません。

とにかく人が優しかったです。大学の先生や留学生だけでなく、バスの運転手さんやカフェの店員さんも笑顔で私の拙い英語を聞いてくれました。自然と英語を話すことに抵抗は小さくなると思います。実際、最終日の午後に大学の留学生とのパーティーがあったのですが、自分から話しかけにいて、会話をすることができました。初日の私からしてみたら考えられません。また、今回の語学研修が私の初めての渡航経験だったのですが、日本の良いところや悪いところを見つけることができました。視野を広くすることはとても重要なことです。そして一緒に参加した芝浦の学生たちとも学部学科学年を超えた友人をつくることができました。今回の私の反省点は、一緒に参加した芝浦生たちに甘えすぎていることです。もっと英語力を鍛えて、またいつか海外へ勉強に行ってみたいです。とにかくOTUおすすめ！



授業外で積極的にネイティブスピーカーの方に話しかけることで、自分の知らない言い回しや単語を覚える機会が得られました！

デザイン工学部 デザイン工学科 3年 小笠原大智さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： カナダ OTU

英会話力への自信が全くない状態での参加となり、当日ときどきしながら飛行機に乗りました。参加目的はまずコロナ禍で今まで参加できなかった海外研修に赴いて、今自分の語学力がどの程度あるのかを測るため、また生の英語に触れていく中でネイティブスピーカーとの会話に慣れ、英会話で委縮してしまう癖を払拭するためです。どっぷりと英語に浸かる生活をしたかった為、娯楽は少なく講義時間の多い、且つ短期間で集中力とパフォーマンス力を維持できるOTUの短期プログラムを選択しました。講義は午前と午後で3時間ずつ、週末は完全オフが二日ほど、残り1日はナイアガラ滝へ観光に行きました。

期間中に意識したことは積極性のある会話の維持で、実際に英語で話をして感じるのは、本当に大切なことは英単語を知っているかどうかの知識量ではなく、自分から話に行けるか・簡単な言い回しがすぐに出てくるか、というオフェンシブな姿勢と頭の回転の速さだと感じました。現地の方が日本人に対して非常に好意的で親切だったのは嬉しい誤算で、その環境もあってか休日に学生だけでトロントに向かった際には、交通機関の利用方法や道順をスマホからではなく現地の方に教えてもらいながら観光地を巡ることができました。

帰国後の成果としてまず英語に触れることが日常化しました。抵抗感のあった学部内のオンライン英語イベントにも申し込み、この経験値を持続させようといま必死です。実際2週間で得られるものは限られており、本格的な年単位の留学と比べれば経験として浅いのかもかもしれませんが、その2週間で自分の語学力の不足に気づくだけでも、その後の自分の成長にはつながるのではないのでしょうか。

積極的にコミュニケーションをとることで自分の英語に自信が付きました！

システム理工学部 数理科学科 1年 竹内 結香さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：カナダ・OTU

中学・高校では英語の学習に多くの時間をかけたものの、実際に英語を使う機会というのはそう多くなく、海外へのあこがれを抱いたまま終わってしまっていました。海外で実際に英語を使ってコミュニケーションをとってみたいという強い希望から、今回語学研修への参加を決意しました。カナダを研修先として選んだ理由としては、高校一年生の頃学校のプログラムでカナダへ行く機会があったからです。しかしそれはコロナの影響でつぶれてしまい、そのころからカナダへ行きたいという思いが残っていたからです。

カナダでは本当に多くの国からの留学生がいて、様々な文化に触れあい、交流を深めることができました。毎日の授業にELC(English Language Centre)を卒業した学生が来てくれ、アートや音楽、環境についてディスカッションをしたり、母国のことについて話してもらったり、日本についても話したりしました。また、授業を担当してくれた先生は私たちが英語を話す機会をたくさん設けてくださり、自信をもって話すようにいつも声をかけてくださいました。また、芝浦工業大学から参加したメンバー14人はとても仲良くなり、みんなで観光地に出かけたり、出来事を共有したり、困ったときには助け合いながらカナダでの生活を送れました。何より、カナダの方々は本当にみんな優しく、道を尋ねたら丁寧に答えてくださったり、うまく言葉が出てこないときにも私の言いたいことを理解しようとしてくれました。様々な国の人がいるからこそその国民性なのだと思います。

今回のプログラムは英語のスピーキング力だけでなく様々なことを学びました。自分の英語に対する自信はもちろん、様々な国の文化や幅広い視野を得ることができました。今後英語を学んでいく上での良い一歩となったと感じています。これからも英語の積極的な学習はもちろん、gPBLへの参加なども前向きに考えていきたいです。



英語の勉強だけでなく、
工学系大学ならではの体験もすることができま
した！

工学部 電子工学科 1年 菊地 颯哉さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： カナダ・OTU

私は「めんどくさがり屋で、課題やこの体験談も提出ギリギリにやる」ようなタイプですから、語学研修の話聞いた後すぐに応募しました。行くまでの約2ヶ月間どんどん行くことが嫌になっていきましたが、研修後の現在は行ってよかったと思います。また、オンタリオ工科大学(OTU)での語学研修は単なる英語学習のためではなく、ゲームラボや風洞実験施設などの工業大学の人間でも楽しめるアクティビティがあったのも決め手の一つとなりました。

滞在期間中は、7時頃に起床し、9時から12時まで英語の授業を行い、午後は1時間程度の英語の授業と日替りのアクティビティを行い、その後の自由時間では、バスに乗って街に観光に向かったり翌日の発表の練習などをしていました。さらに、土曜日にはナイアガラの滝まで観光に行き、日曜日は各々が行きたい場所へ観光に行ったり、部屋でゆっくり体を休めるなど自由に過ごしていました。

2週間という短い期間でしたが、英語の成績の向上だけでなく、多民族国家のいいところである様々な文化的背景を持つ人々との交流をすることができてとても満足しています。さらに日本の良さも再認識することができました。

現地の人との交流を通して、英語力に自信が付きました。また、英語学習におけるモチベーションアップにもつながりました！

システム理工学部 生命科学学科 1年 山田大さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： カナダ・OTU

自分は高校の修学旅行でイギリスに行く予定だったのですが、新型コロナウイルスが蔓延したため、行くことができませんでした。また、海外に一回も言ったことがなく留学には興味が前からありましたが、なかなか踏み切ることはできずにいました。この大学の語学研修プログラムの紹介を聞いて、できるかもしれない思い、参加しました。

現地では、大学で6時間の授業がほぼ毎回開講され、現地の大学生と話しながら、先生から与えられた課題や問題について協議したり、同じプログラムに参加している人とも意見を交換したりしました。また、授業後はみんなと一緒にショッピングをしたり、観光名所に行ったり、街に出てみたり色々な事をしました。特にカナダは、移民の国ということもあり、様々な国籍の方と話すことができたため、それぞれの文化や価値観に触れることができました。また、現地の学生とコミュニケーションをとる中で、自分の進路や将来の展望も考える時間もあり、いい時間になりました。

この研修を通して、英語のモチベーションアップはもちろんのこと、様々な価値観を受け入れられたり、何より、目的としていた海外渡航経験を得られることができ、この研修に参加しないと得ることのできない経験だと思います。また、一緒に来ていた芝浦の学生とも知り合いになることができ、渡航前とはよりも、充実した大学生活を送れています。また、来年も語学研修に参加したいと考えています。



様々な人と交流したおかげで、苦手だった Speakingにも自信をもてるようになりました！

工学部 情報工学科 1年 山下 真毅さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： カナダ OTU

何となく海外に行きたいという純粋な気持ちがきっかけで語学研修に申し込みました。その中でも、カナダのOTUは、2週間のプログラムながら授業時間が他のプログラムが長く、英語に触れる機会が増えるのではないかと思います、短期間で英語力を上げるには非常に魅力的だったので選びました。

滞在期間中は午前は基本的に英語の授業、午後は大学内や周辺にある研究室や施設を見学しました。授業では環境をテーマに学び、先生だけでなく、現地の学生の方にも新出単語や発音を教えていただきました。最終日には自分の理想とする環境に配慮した都市・学校をプレゼンし、共にこのプログラムに参加した芝浦生とも協力し、仲を深めることができました。午後の見学は、ゲーミングラボやロボット、車の安全性を研究する施設を拝見しました。どこも日本にないような機械がたくさんあって新鮮でした。

休日には、カナダの代表的な観光地であるナイアガラの滝をめぐるツアーや、トロント観光を楽しみました。まるでアニメの世界のようで、夢のような時間でした。是非現地で見たいいただきたいものです。

わずか2週間のプログラムということもあり、あっという間に終わってしまいましたが、一生忘れられない最高の思い出になりました。このプログラムに参加しようか迷っている方に告げたいのは、少しでも興味があったら参加をするということです。行かずに後悔することはあっても、行って後悔することは絶対にありません！！自信を持ってお勧めします！！